

泉さんの追悼コンサートに寄せて

11月15日、大分シネマ5での「ご縁玉」上映会の当日、江口監督と舞台あいさつに立つことを心待ちにしていた泉さんでしたが、13日に病室を訪れた監督の「僕がかついでも連れて行くよ。」と誘ってくれた言葉に、いつもと違う、少し弱々しい声で「もう一緒に行けないよ。」と伝え、上映最終日の21日に、舞台の幕が降りるように旅立ってしまいました。

彼女は、様々な活動を通して、私たちにいろんな記憶や言葉のプレゼントを残してくれています。生前、「いろんな人にお世話になってきたのだから、限りある残りの人生を、少しでも人様のためにお役に立てたい。」とよく言っていました。

特にいのちの授業では、「少しは人様のお役に立てたかしら。」、「少しは、お世話になった人へ恩返しできたかしら。」と繰り返し言っていたのを思い出します。

今、彼女が残してくれた“人と人のご縁”がつながり、私たち家族はこれまで同様、彼女を支えてくださった多くの方々と一緒に彼女の思い出を語り続けていくことができます。彼女が残してくれた最高のプレゼントです。

今回、1万km離れていても心が通じ合い、泉さんのことをもっとも心配してくれていたフランスのチェリスト、エリックマリア・クテュリエが、亡き泉さんを偲んで来日してくれることとなりました。そして、彼の来日に合わせて、これまで泉さんを支えてくださった方々が、泉さんの追悼コンサートを企画してくださることとなり、感謝の気持ちでいっぱいです。

映画「ご縁玉」で共演しているエリックマリア・クテュリエが奏でるチェロの音色と共に、泉さんの思い出を偲んで頂けましたならば、家族としましても喜ばしい限りです。

ぜひ会場でお会いしましょう。

山 田 真 一